

◆構造・施工概要

- 1) 河川内工事のため、施工時期が非出水期（10月から5月末）であり、平成22年6月から9月末の間、河川内工事が休止となりました。第一濁水期は張出し架設工を行い、第二濁水期で側径間を施工しました。
- 2) 橋脚はピアケーソンであり、下部工工事で脚頭部まで完成していました。上部工工事の柱頭部は築島上にクサビ結合式支保工を使用して構築しました。
- 3) 上部工は河川水位と道路の縦断勾配から桁高を抑えた構造となっています。また、現地線形条件からA2～P1にR=160mの平面曲線を有し、張出し架設に際しては曲線レールを使用した移動作業車で施工を行いました。
- 4) 道路条件、河川条件からA1橋台の斜角が33°40′であり、道路幅員9.0mに対して、橋台幅が22.4mと長くなりました。そこで配置される支保がA2では2個ですが、A1では3個になっています。



現橋と柱頭部施工状況



柱頭部完成



移動作業車組立状況



張出し架設状況



曲線桁張出し架設



側径間支保工部施工

◆工程表

項目	平成21年			平成22年												平成23年											
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5							
									出水期河川内作業休止																		
準備工	■																										
柱頭部		■	■	■	■	■	■	■																			
張出し架設工				■	■	■	■	■																			
側径間支保工														■	■	■											
外ケーブル工																■	■										
付属物工																■	■	■	■	■							
橋台二次施工																			■	■							
仮設工								■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■						